



# 市立池田病院だより

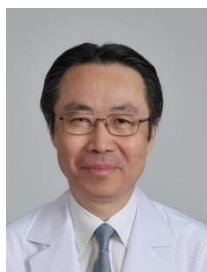
基本理念

創意に富み 思いやりのある 信頼される病院をめざして

第18号

2016年1月発行

## 新年のご挨拶



新年あけまして  
おめでとうございます。



平成25年4月に病院長に就任し、早3年近くが過ぎました。団塊の世代が75歳以上になる2025年には人口の18%が75歳以上になるとい、いわゆる2025年問題に代表されるように、我が国において少子高齢化が急速に進んでいます。この事態に対応すべく社会保障・税の一体改革が急ピッチで進められています。この高齢化が進む社会において、市立池田病院としては、地域における急性期基幹病院としての役割を全うすることが最も重要であると考えております。

当院の急性期病院の役割として、これまで以上に救急総合診療、専門性の高い先進的な医療に積極的に取り組んでいきます。がん診療においては、大阪府がん診療拠点病院として、肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がんの5大がん、さらに前立腺がん、腎がん、膵臓がん、食道がん、婦人科がんなどについて腹腔鏡手術を中心とした手術、内視鏡治療、化学療法、放射線治療、緩和ケアと幅広く高度ながん専門診療を行っていきます。平成27年度に放射線治療装置の更新、新たなMRIの購入など大型医療機器の整備も行います。また、2月末から、消化器内科と消化器外科が一緒になり、『消化器病センター』を開設し、これまで以上に消化器疾患の診療を充実したものにします。

救急受け入れ態勢もさらに充実し、内科、外科、整形外科を中心とした救急患者さまの受け入れを積極的に行っていきます。これからも老老介護や独居の高齢者が増え、治療を終えても介護の必要性から退院できない方は増える一方です。疾病を治すだけでなく、患者さまのQOLを支えながら診療を提供することが、今後ますます期待されます。そこで、市立池田病院は、国が描く地域包括ケア体制の実現に向けた将来構想実現のため、“メディカル・タウン”構想を掲げ、自治体病院として近隣地域を“安心で豊か”なものにすべく、かかりつけ医の先生方、さらに地域の薬剤師の方々、訪問看護師、介護に携わるの方々、行政とも連携し、充実した医療サービスを楽しむ街づくりを目指します。

“メディカル・タウン”構想を通じて、地域の住民の方が安心して暮らせる地域医療を確立すべく、創意に富み、思いやりのある、信頼される病院を基本理念として職員一丸となって努力していきたいと思っております。

平成28年1月  
病院長 今井康陽

### 患者さまの権利

- ・ 個人として常にその人格を尊重される権利があります。
- ・ 自分が受ける医療に参加して自ら決定する権利があります。
- ・ 良質な医療を平等に受ける権利があります。
- ・ 自分が受けている医療について知る権利があります。
- ・ 十分な説明を受ける権利があります。
- ・ 診療上の個人情報やプライバシーが守られる権利があります。

# 2月末より消化器病センターを開設します。



消化器病センター長  
福田 和人



消化器病副センター長  
太田 博文

これまでは消化器の病気で当院を受診される際、内科に行ったらよいのか、外科へ行ったらよいのか迷われることもあったかと思えます。このような場合も、消化器病センターを受診して下さい。一人ひとりの患者さまの治療方針について内科医・外科医が緊密に意見を交わし、さらに放射線科医師、看護師、薬剤師を含めたチーム医療によって最適かつ安全な医療を提供できるよう努めてまいります。

消化器疾患は食道・胃・腸などの消化管、肝臓、膵臓、胆嚢・胆管と多岐にわたっており、検査・治療方法も年々進歩、多様化しています。消化器病センターは、消化器内科医と消化器外科医が診療科の垣根を越えて密接に連携し、消化器病の患者さまに、よりよい医療をより迅速に提供することを目的として開設されました。

消化器病センターでは、胃潰瘍・十二指腸潰瘍、虫垂炎、胆石、脂肪肝などの一般的な病気から、胃癌、大腸癌、肝臓癌、膵癌などの悪性疾患、B型・C型肝炎、膵炎・胆管炎、さらに、潰瘍性大腸炎、クローン病、自己免疫性肝炎などの特定疾患まで広範囲の疾患に対応します。

内視鏡検査では、一般的な上部消化管内視鏡（胃カメラ）、下部消化管内視鏡（大腸カメラ）の他、内視鏡下胆管・膵管造影、超音波内視鏡などの特殊内視鏡検査を行っています。胃カメラ・大腸カメラは苦痛の少ない鎮静下での検査も可能です。画像検査では、腹部超音波（エコー検査）、CT、MRI等で病変を見つけることに加えて、最近では超音波やMRIで内臓の硬さを測定して、病気の進み具合を評価することもできるようになっています。

治療についても、薬物療法、内視鏡治療、エコー下治療（ラジオ波など）などの内科的治療、腹腔鏡手術を含めた外科的治療、放射線科医師によって行われる放射線治療やカテーテル治療など多くの選択肢があります。これらの治療の中から、個々の患者さまにとって最適なものを提供するためには、各診療科の境界を越えた総合的な判断が重要です。

さらに、消化器病センターの開設により、大阪府がん診療拠点病院としても、より高度ながん診療をご提供できるものと思っております。

消化器病センター長  
福田 和人



# 消化器病センター担当医師

消化器病センターでは下記の医師により、月曜日から金曜日の午前・午後診察を行っています。初診については交代制としております。また当院は近隣の医療機関との連携を強化しています。まずは診療所やクリニックを受診し、紹介状をご持参下さることをお願いしています。

## 【消化器内科】

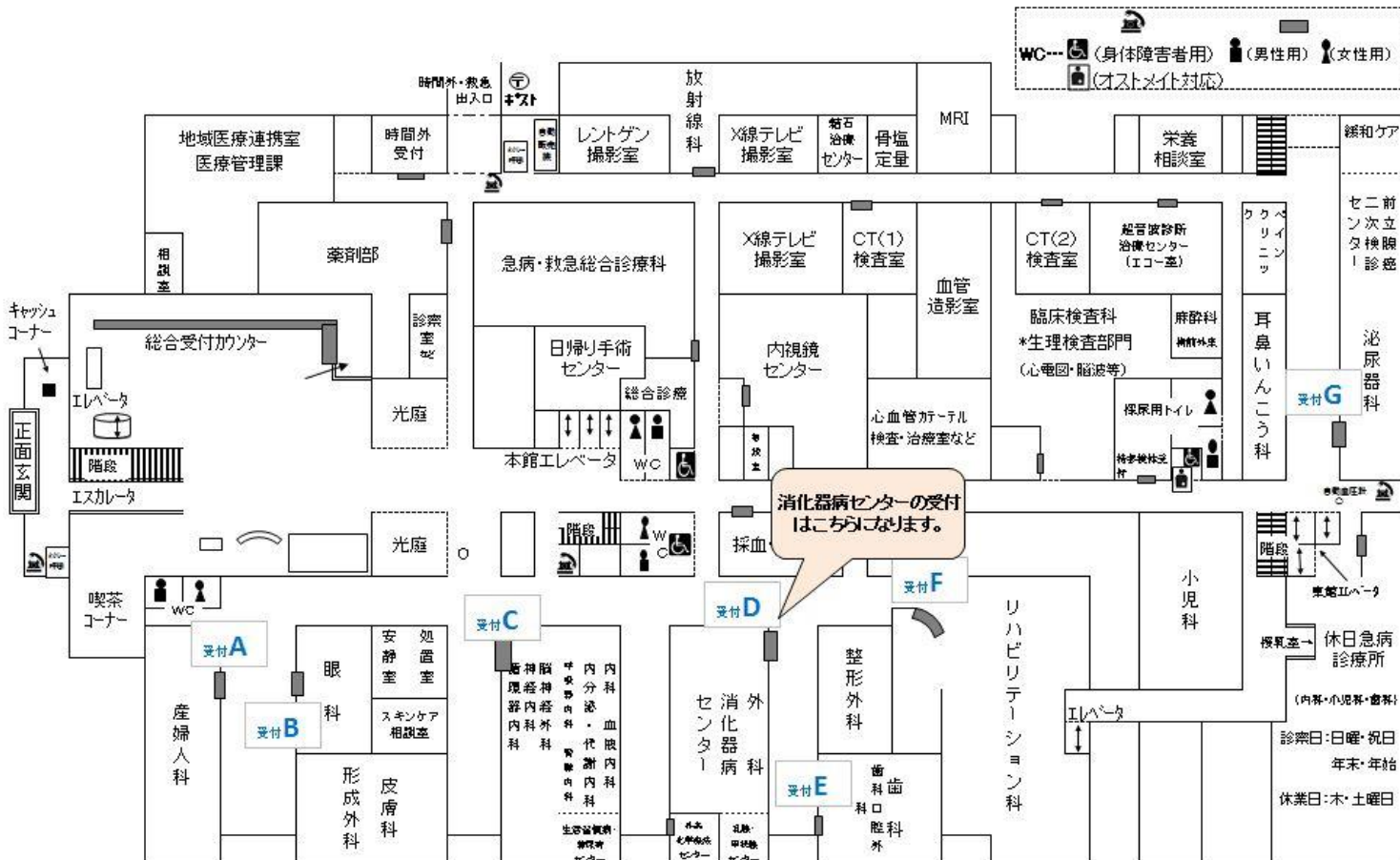
今井 康陽	篠村 恭久	福田 和人	井倉 技	中原 征則	澤井 良之
松本 康史	小来田 幸世	山口 典高	谷 瑞季	安岡 秀高	岩本 剛幸
岡部 純弥	山縣 洋介	相坂 龍哉			

## 【消化器外科】

柴田 邦隆	太田 博文	赤丸 祐介	森本 修邦	酒田 和也	足立 真一
瀧内 大輔	森 総一郎	児玉 紘幸	齋藤 稔史		

## 外来受付の名称と場所が変わります。

診察受付をAからGとアルファベットで表示し分かりやすくします。また消化器病センターの診察受付は受付Dにて行います。



# がん診療拠点病院としてがん診療に力を注いでいます。

## がん診療のための緩和ケア研修会を開催しました。

昨年10月17・18日に、緩和ケア研修会を開催しました。この研修は“すべてのがん診療に携わる医師が緩和ケアの基本的な知識・技術・態度を習得する”ことを目標とする厚生労働省の指針に沿ったもので、医師や看護師、薬剤師など多職種 of 医療従事者が緩和医療について学びました。院外から18名、院内からも19名の計37名が参加し、事例検討やロールプレイで生まれたコミュニケーションによって、地域の医療機関における緩和ケアの現状や取り組みを知ることができました。今後、研修で得た知識はもちろん、研修で得たつながりも活かし、地域と連携した緩和ケアの実践に努めてまいります。



## 市民公開講座のお知らせ

「これだけは知っておこう!! 病気・治療のまめ知識」と題し、月に1回市民公開講座を開催しています。40分程の講座で無料となりますので、お気軽にご参加下さい。



開催日	テーマ	会場
1/21 (木)	麻酔科 小野(理)副部長 13:30~ 「麻酔について」	東館2階講堂
2/24 (水)	神経内科 那波部長 13:30~ 「ギラン・バレー症候群について」	東館2階講堂
3/29 (火)	皮膚科 吉良部長 13:30~ 「皮膚の感染症について」	東館2階講堂

### お問い合わせ

ご意見箱を院内に設置しておりますので、病院だより等のご意見ご感想などお寄せくださることをお待ちしております。

〒563-8510 大阪府池田市城南3丁目1番18号  
Tel 072-751-2881(代表) Fax 072-754-6374  
URL <http://www.hosp.ikeda.osaka.jp>  
編集・発行：市立池田病院 広報委員会